

漁海況情報第8報 (2016年11月4日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

宮城県沿岸の142° 10' E以西の水温は、表面、100m深とも概ね平年並となっている。

宮城県沿岸の表面水温は、16～18℃台となっており、概ね平年並となっています。

100m深水温は11～16℃台となっています。平年と比較すると、38° 50' Nラインの142° 10' E付近は2℃高めとなっていますが、これより沿岸側では概ね平年並となっています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。(142° 30' Eの観測点と142° 50' Eの観測点は荒天のため、欠測です)

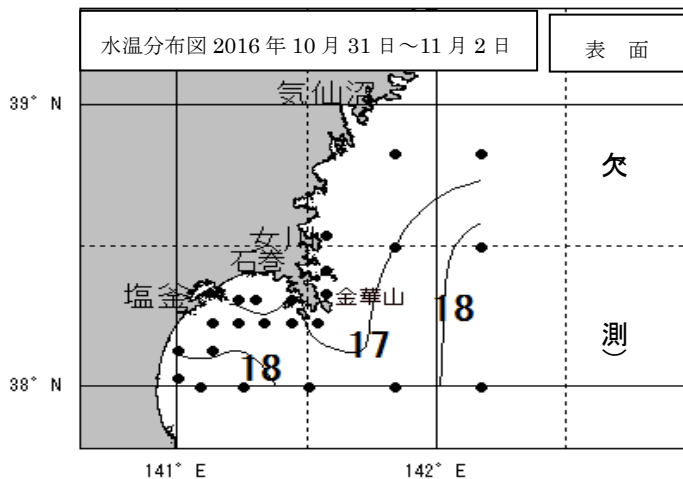
水温鉛直断面図をみると、38° 50' Nライン、38° 30' Nライン、38° Nラインとも表面が冷やされて鉛直混合が進み、先月よりも等温線の間隔が広がってきました [P2.水温鉛直断面図]。

(一社)漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第1分枝が宮古沖70海里まで南下してきました。[P2.東北海域の海況図：(一社)漁業情報サービスセンター]。

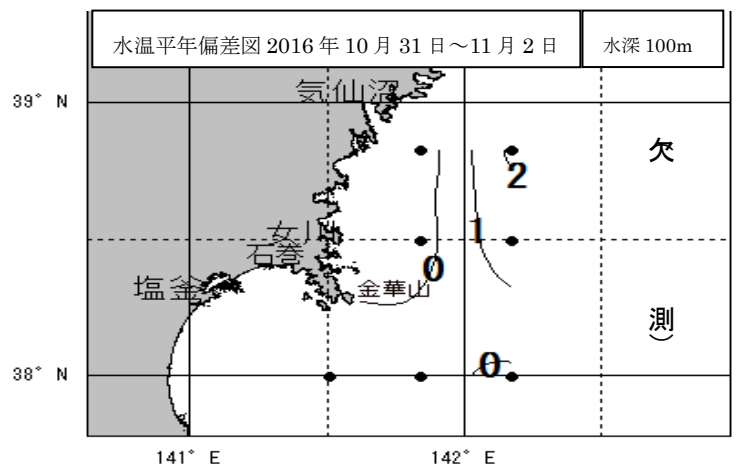
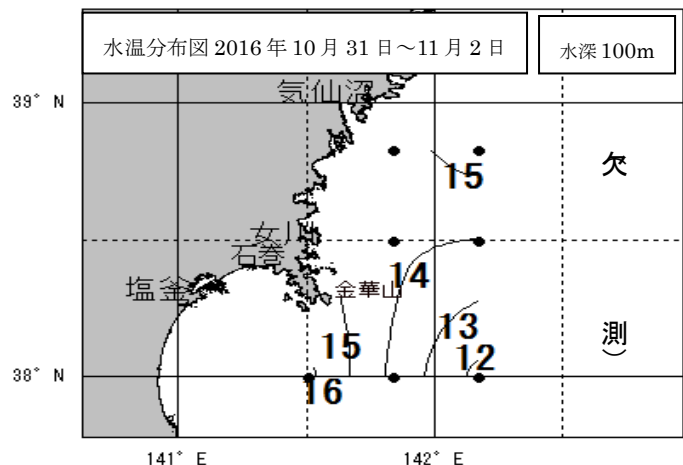
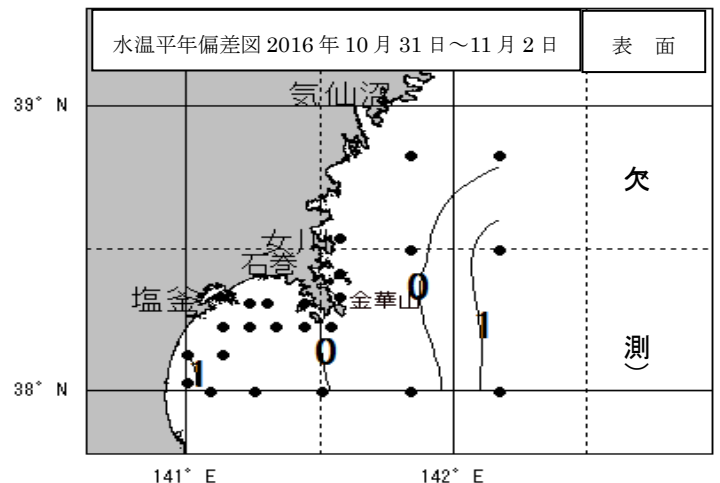
10月下旬の定地水温は15～17℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼、江島、佐須浜ともいずれも平年並となっています(亘理はブイの不具合により8月3日から観測を休止しています) [P3.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、前年並みとなっています [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

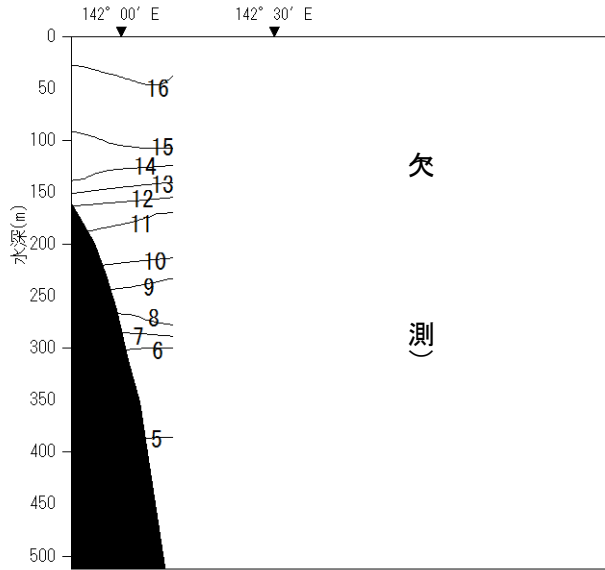


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)



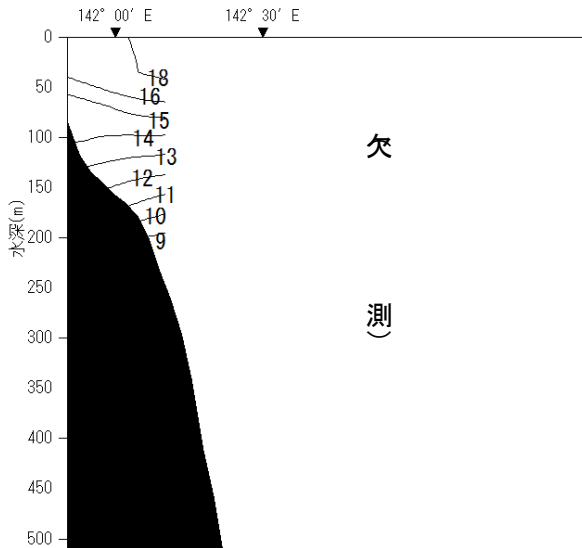
・水温鉛直断面図

38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



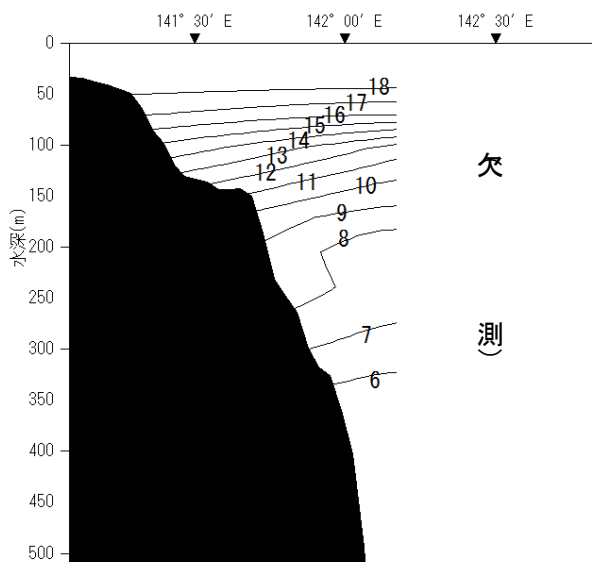
欠測

38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)



欠測

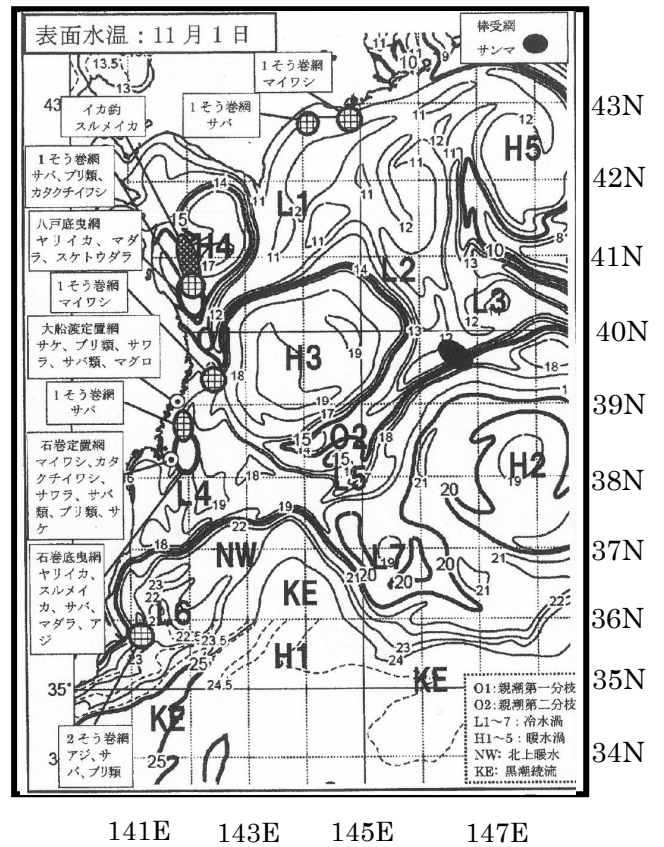
38° Nライン(巨理沖合ライン)



欠測

2016年11月1日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

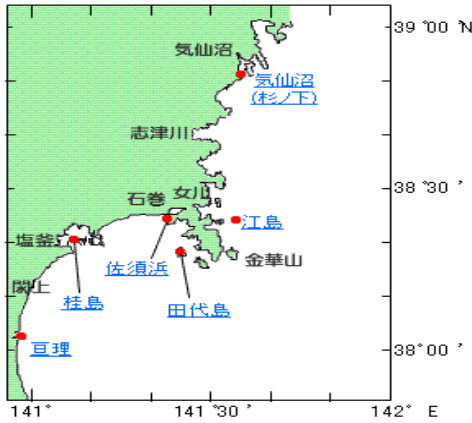
【海況】(11月1日表面水温)

- ・親潮第一分枝 (O1:15°C以下) は宮古沖 70 海里まで南下。
- ・第二分枝は (O2) は三陸沖暖水渦 (H3) の南側を迂回して金華山沖へ南下, さらに 16°Cの冷水が気仙沼沖 80 海里まで接近。
- ・黒潮 (KE) は 23~25°Cに降温。
- ・暖水 (20~22°C台) が鹿島沖を距離 30~50 海里に接近しながら北上。
- ・道東は 10~11°C台, 下北~三陸は 14~16°C台, 仙台湾~常磐沖は 17~18°C台に降温。鹿島灘~房総は 20~21°C台を維持。

【漁況】(10月28~11月1日)

- ・まき網: 八戸沖でサバ, ブリ類, カタクチイワシ, 三陸ではサバ主体, 犬吠埼でアジなどを漁獲。道東沖のサバ, マイワシは 10月31日で終漁。
- ・定置網: 石巻はイワシ類主体, 大船渡はブリ類, サケ, サワラ主体。
- ・カツオ竿釣: 福島沖 30 海里付近で全船が操業。
- ・スルメイカ: 石巻の底曳網が少量水揚げ。
- ・サンマ棒受網: 岩手沖は主漁場, 時化のため水揚げ不安定。

・定地海洋観測



観測点	10月下旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	16.6 °C	平年並	-0.5 °C
江島	17.8 °C	平年並	0.1 °C
佐須浜	17.4 °C	平年並	-0.1 °C
桂島	15.8 °C	-	0.0 °C
巨理	- °C	-	-

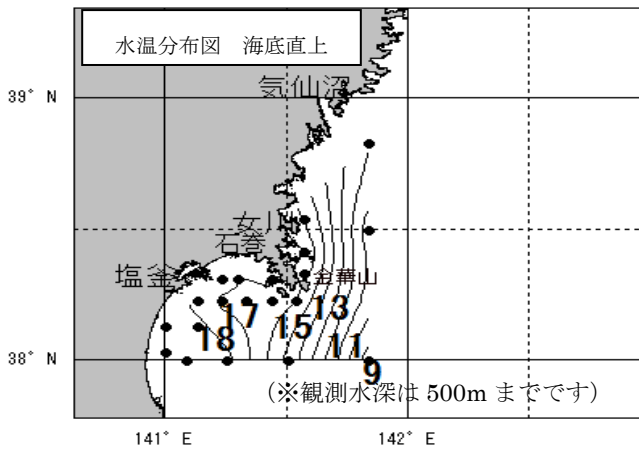
※田代島と巨理は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差
 岩井崎 (30年)
 江島 (30年)
 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

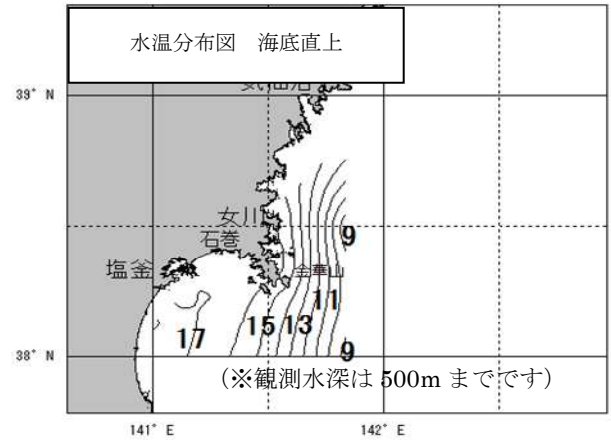
「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html>」でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2016年10月31日～11月2日)

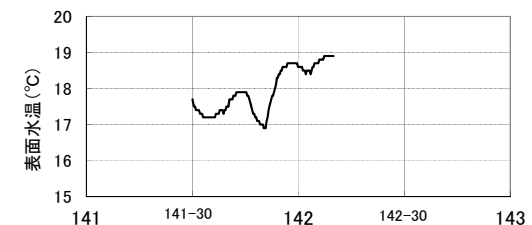
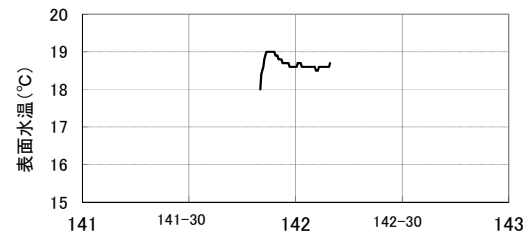
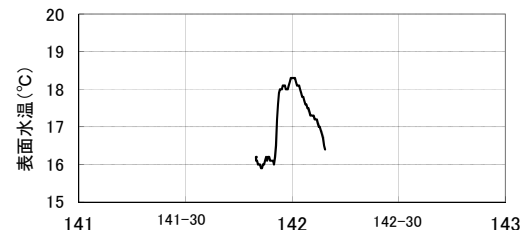
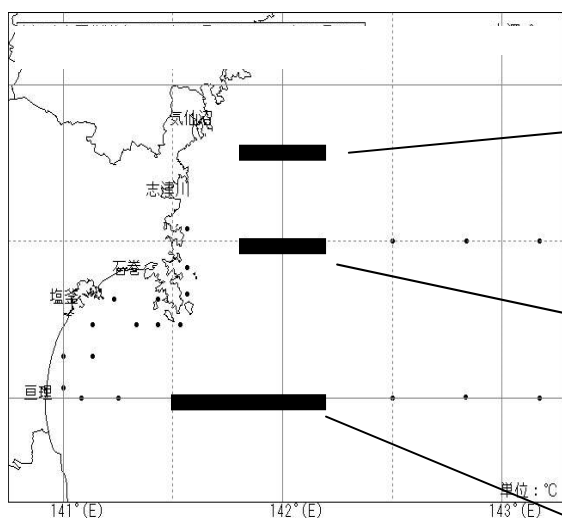


・海底直上水温(2015年11月4日～5日)



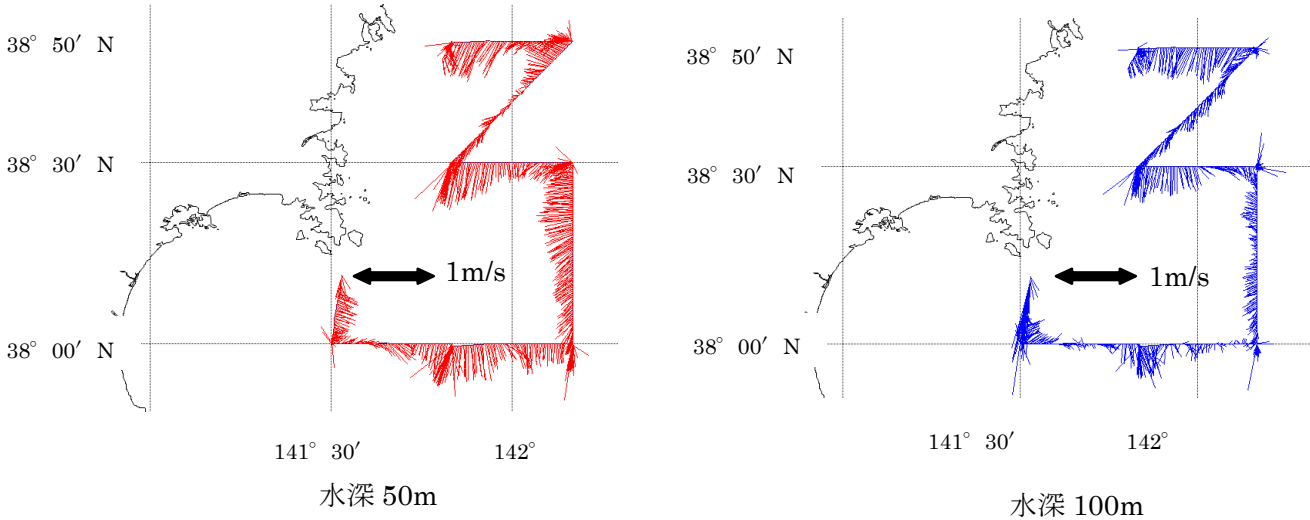
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 28 年 10 月の水揚量を見ると、昨年同月比でカツオ、クロマグロ、キハダ、マイワシ、サワラ、ヤリイカの増加が目立ちます。一方、ビンナガ、メバチ、サバ類、スルメイカ、ヒラメ、シロサケ等は減少しています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成28年10月1日~10月31日)

単位:トン

	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年比
カツオ					2,700	3	0		0	9	2,713	296%
ビンナガ					0				16	1	17	12%
クロマグロ(メジ含む)						9	0		1	7	17	341%
メバチ(ダルマ含む)						0			49	1	50	57%
キハダ(キメジ含む)					9				15	3	27	159%
マイワシ	0	0	169			436				121	726	428%
カタクチイワシ						254				12	265	82%
サバ類	748	19	99			200	19			59	1,143	45%
サンマ				11,962						21	11,983	124%
ブリ	0	1	0			189				8	197	13%
マアジ	30	20	0				4			3	56	67%
サワラ	0	0				320	4		5	4	333	487%
スルメイカ	268	7	0			0		8		0	284	24%
ヤリイカ	353	53	1			4				0	411	1238%
マダラ	15	0				0	1		1	85	102	130%
マアナゴ	1	7				0				21	30	55%
ヒラメ		19				3	8			5	35	17%
マコガレイ	2	40				0	2			1	45	42%
マガレイ		3					0			1	4	67%
ババガレイ	11	1				0	0			1	12	183%
シロサケ	52	3				242	301			670	1,268	53%
ガザミ	0	22				4	47			64	137	91%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

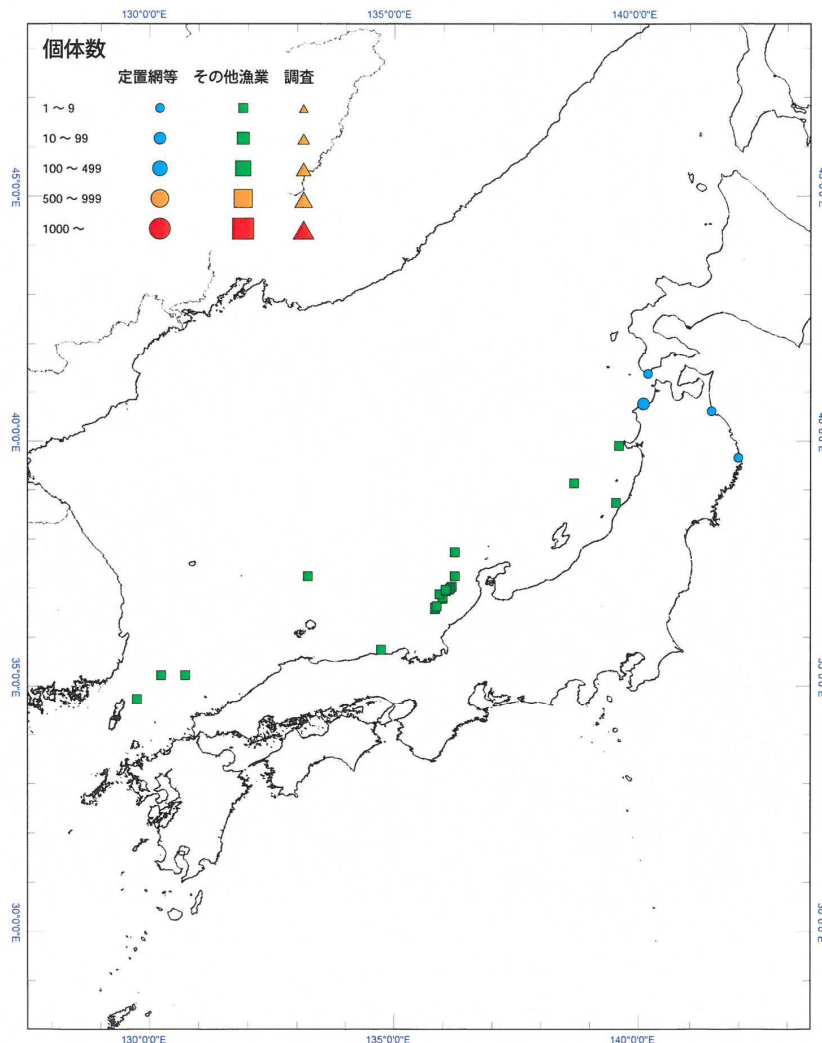
※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 大型クラゲ情報

(一社)漁業情報サービスセンターによると(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>), 11月上旬現在,

山形県沖、秋田県沖の底曳で数個～最大 18 個の入網，男鹿半島、青森県、岩手県沿岸の定置で数個～最大 16 個の入網で，北部日本海中心の分布となっており，沖合での発見が多い傾向となっています。同センターでは引き続き，北部日本海、特に秋田、青森、岩手の定置網、底曳網は注意を呼びかけています。一方，九州、山陰は分布が少なくなりつつあります。

本県での発見は 11 月 4 日現在，確認されていませんが，今後，来遊の可能性があり，少量でも被害となることもありますので，当センターでは今後も情報提供を行っていく予定です。



漁業情報サービスセンター (2016 年 11 月 2 日現在)

(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

6. 調査船運航計画

みやしお	
11 月 16 日 ~ 11 月 18 日	沖合定線調査
11 月 21 日 ~ 11 月 22 日	沿岸定線調査
開 洋	
11 月 8 日	ヒラメ新規加入量調査
11 月 10 日 ~ 11 月 11 日	マアナゴ漁獲調査
11 月 14 日 ~ 11 月 15 日	刺し網調査
11 月 21 日 ~ 11 月 22 日	浅海定線調査